

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

| | | | | |
|-------------------------|---|------------------|---------|---|
| | 記入日 | 平成 27 年 7 月 25 日 | | |
| 所属学部・研究科 | 文学部 3年次 (留学開始時点) | | | |
| 留学先大学 | マンチェスター大学 (国名: イギリス) | | | |
| 所属学部・学科等名 | Linguistics and English Language, Sociology, Politics の授業を受けました。 | | | |
| 在籍身分 | University-wide Exchange Student | | | |
| 留学期間 | 平成 26 年 9 月 12 日 ~ 平成 27 年 6 月 3 日 | | | |
| 1. 渡航について | | | | |
| ビザについて | ビザの種類: Tier 4 Student Visa | | | |
| | ビザ申請先: 大阪 | | | |
| | 取得方法, 提出書類: インターネットで書類をダウンロードし、大阪のオフィスへ提出しに行きました。その際、事前にマンチェスター大学から受け取った CAS ナンバーと、証明写真、TOEFL のスコア等を持参。 | | | |
| | 手続きに要した日数: およそ 1 か月 | | | |
| その他必要な事前手続き | | | | |
| 出国年月日 | 平成 26 年 9 月 7 日 | | | |
| 経路 | 長崎→福岡→シンガポール→ドイツ→マンチェスター | | | |
| 現地での出迎え | <input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無 | | | |
| 到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容 | 9月9日から14日まで。事前にオリエンテーションガイドの書類を受け取っていたので目を通し、概要をつかんで参加しました。 | | | |
| 帰国年月日 | 平成 27 年 6 月 20 日 | | | |
| 経路 | マンチェスター→オランダ→福岡→長崎 | | | |
| 2. 留学経費について | | | | |
| 所要経費 | 総額 | 1,245,910 | 円 | |
| | 内訳 | 渡航費 | 140,010 | 円 |
| | | 保険料 | 135,900 | 円 |
| | | 教科書代(学費) | 20,000 | 円 |
| | | 宿舍費 | 700,000 | 円 |
| | | 食費 | 200,000 | 円 |
| | | その他 (旅行 費) | 300,000 | 円 |
| (VISA 費) | 50,000 | 円 | | |
| (費) | | 円 | | |
| 3. 授業について | | | | |
| 2014 年 1 学期 | 9 月 15 日 ~ | 1 月 23 日 | | |

| | |
|-------------------------------|---|
| 2014年2学期 | 1月 26日 ~ 6月 3日 |
| 年 学期 | 月 日 ~ 月 日 |
| 年 学期 | 月 日 ~ 月 日 |
| 授業の概要について (カリキュラム, プログラム等) | 交換留学生なので、学部が求める語学条件を満たしていればどの学部の授業も受けることができます。私は言語学、社会学、政治学の授業を取りました。 |
| 単位互換希望の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること |
| 学術面に関する後輩へのアドバイス | Reading をとにかく怠らないこと。ここでどれだけ読み込めるかで授業の理解度に差が出ます。しかし、量がものすごく多いので、メリハリのある時間管理を心掛けることが重要。 |
| 4. 生活等について | |
| (1) 留学先の住居について | |
| 住居の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 () |
| 住居の広さ | 約 10 m ² 同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 住居に附属する設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 () |
| 住居費 | 1ヶ月当たり 405 ポンド (現地通貨) 約7万5千円 |
| 住居を決定した方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 留学先での住居全般に関するアドバイス | 中心街に近い City Campus (うるさい)、大学寮集中地区の Fallowfield Campus (もつとうるさい)、その中間に位置する Victoria Park (静かなほう)の三つのエリアから成る。 |
| (2) 医療について | |
| 1日以上入院を要する 病気・怪我等を | <input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった |
| 入院した場合 | により 日入院 |
| 留学に当たり保険を | <input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった |
| 掛けた場合 | <input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 掛け金は | 年間 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 (10か月で 135,900円) |
| 留学前後での予防接種 の必要の有無 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名 | |
| 日常的な健康について 不安が | <input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由: |
| 留学先国の医療事情 (日本と比較して) | 到着後すぐに NHS の GP に登録します。そうすれば無料で診察してもらえます。 |

| | | |
|---|--|------|
| 留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと | | |
| (3) 危険を感じた地域, 状況 | | |
| 学生を装って寮に侵入した男に、数分部屋を空けている間にiPadと電子辞書、現金5千円相当を盗まれました。たとえ1分でも部屋を出るときは鍵を必ずかけること。身近なところで犯罪は発生します。 | | |
| (4) その他生活等に関して参考となる事項 | | |
| | | |
| 5. 帰国後の進路について | | |
| 卒業予定年月 | 平成29年 3月 (当初の卒業予定年月 平成28年3月) | |
| 卒業が遅れる見込みの場合, その理由 | <input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に 高等学校教諭免許状取得における教育実習の一年遅れによる。) | |
| 現在の状況および今後の予定・進路等 | 卒業が一年遅れるため、学部3年生の授業から再開します。 | |
| 就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫 | | |
| 6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等 | | |
| 書籍, サイト名 | 詳細 (出版社, URL 等) | コメント |
| | | |
| | | |
| | | |
| 7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等) | | |
| 学習及び生活の概要に関するレポートを参照してください。 | | |

学習の概要に関するレポート

私は2014年9月から2015年6月までの10か月間イギリスのマンチェスター大学に留学していました。大学では1つの授業につき10もしくは20単位で、1セメスターに50単位、あるいは60単位取らなければなりません。私が取った授業は、1セメスター目は言語学から Principles of Linguistics, English Grammar, Phonetics and Phonology, おまけで日本語学科から Japanese Comedy and Media の4つで50単位取りました。2セメスター目は、イギリス英語と授業にも慣れたのでレベルを上げて、言語学から Investigating Grammar, The History of the English Language, 政治学から Britain in the World, 社会学から British Society in a Globalising World の4つで60単位取りました。

■授業

1つの授業につき、一週間に1回ずつ講義とセミナーがあります。講義は日本のものとはほぼ同じです。1回の講義は1時間か2時間程度です。私は講義中に意見や指摘が活発に行き交うものかと思っていたのですが、そういうことはあまりなく、静かであまりインタラクティブではないものでした。受動的な学生が多かったです。

セミナーは、1回で1時間程度、10人程で行われます。内容は、前半はその週に行われた講義の復習と Reading Assignments に関するディスカッション、後半は講義テーマの応用発展的な内容でディスカッションです。終始ディスカッションです。セミナーは講義とは一転、皆が活発に意見を述べ、どんどん内容が深くなり、スピードもすさまじく速いです。Reading と講義の復習をどれだけ事前にやっているかがカギです。

■課題

主な課題は、毎週の膨大な量の Reading、Weekly Essay でした。とにかく量がすさまじいです。しかし、これらの課題をやらなければ講義にもセミナーにもついていけず、授業がつまらないものになってしまいます。私は勉強では妥協したくないので、全ての Reading、Weekly Essay は必ず取り組むようにしました。その結果、英文を読むスピードと理解度は格段に速くなり、Essay の質も非常に良くなりました。課題はとても多いので、平日にどれだけメリハリのある時間管理ができるかがポイントになってきます。要はやるかやらないかは自分次第です。やらなければ達成感も結果も何も生まれません。

■試験

試験では、鉛筆ではなくボールペンを使用することになります。40パーセント以上の点数が取れば単位取得です。内容は私の場合は、テーマに沿って2時間で1200字程度のエッセイを2つ書くタイプでした。普段から Reading と復習を行っていれば、試験前に試験勉強で苦しむことは特にありません。

HUSA では事前に自分の学びたい分野や自分のレベルにあった大学を選択することができ、事前に準備する時間が確保できるので、留学先での学習に比較的スムーズに取り組むことができます。日本にいる間から学習する習慣を身につけておくこと、特に英語に関しては今までやったことがないくらいの努力が必要。それでも足りないくらいです。留学先でスイッチの切り替えができるメリハリのある時間管理を意識すること、留学の目的を絶対に明確化していくこと、これらが大きなカギになると思います。

生活の概要に関するレポート

イギリス、マンチェスターでの生活に関してまとめたいと思います。

■寮

マンチェスター大学の寮は、City Campus, Victoria Park, Fallowfield の3つの地区から成ります。私の寮は、Wright Robinson Hall で、City Campus に位置しており、この地区は大学まで徒歩 15 分、中心街まで 10 分程度のところで、騒音をのぞけば立地環境は非常に良かったです。Fallowfield は新入生が多く集まるところであり、夜遅くまでパーティーして騒いでいたりして最も騒々しい地区のようです。大学からはやや遠く、バスで通うようです。Victoria Park は前述2つの地区の中間に位置しており、比較的静かな環境で生活ができるようです。私の寮は、16人でキッチンとトイレ、シャワーを共同で使用し、洗濯機・乾燥機はお金がかかり、寮に住む学生全員で共有でした。

■食事

食事に関しては、基本自炊をしました。というのも外食するとお金がすごくかかりますし、スーパーでの野菜、果物などの食材は日本よりも安価だったからです。調味料等も豊富で自炊では困りませんでした。外食は稀にしましたが、正直イギリス料理は高いうえに口に合いませんでした。ただ、パイとエール(アルコールの一種)の組み合わせは最高でした。マンチェスターはイギリス料理だけでなく、世界のあらゆる国々の料理を食べることができるのが魅力的です。

■娯楽・旅行

平日は遊ぶ暇がなかったので、週末に友達とパーティーしたり、飲みに行ったり、旅行したりしました。セメスター期間中の週末は足繁くパブに通い、色々なお酒を楽しみました。映画やミュージカルなどを見に行くことも多かったです。長期休暇では、イギリス国内(ロンドン、バーミンガム、リバプール、オックスフォード、ケンブリッジ、カンタベリー、エディンバラ、ストラトフォード、湖水地方)を旅行しました。国内移動は移動費の安いバス(Mega Bus と National Express)がおすすめです。国外では、オーストラリア、フィンランド、スウェーデン、スペイン、イタリアへ旅行しました。ヨーロッパへのアクセスが非常に良いのがすごく魅力的でした。

■英語

イギリス英語には本当に苦労しました。ドラマで聞くような綺麗な Received Pronunciation ではなく、イギリスでは地域によってまったく異なる英語が話されます。語彙や発音、イントネーション、文法まで今まで聞いたことのないようなものが多かったです。留学前に様々なイギリス英語にもっと触れて耳をならしておけばよかったと後悔しました。しかし、慣れると聞くのもそれを使って話すのもすごく楽しくなります。日本にいる間に綺麗な英語だけでなく、インターネットや国際交流を通して、様々な英語に耳をならしておくことが重要だと思います。

■天気

雨と曇りばかりです。風が異常に強いです。傘をさせません、壊れます。晴れた日には出かけたくなくなります、そして珍しいので写真を撮りたくなくなります。

つらいことも本当に多かったです。日々刺激的で濃く充実した 10 か月間でした。このような大変貴重な経験を支援してくださったすべての方々への感謝の気持ちで溢れています。本当にありがとうございました。